

# 安全マネジメント実施計画書

株式会社中国交通

平成28年1月1日

20160225 重点施策修正

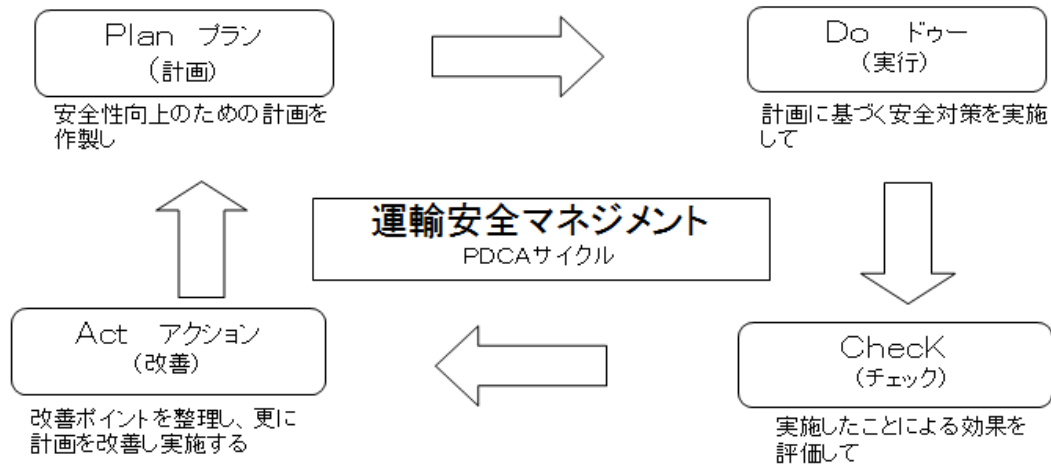
20160318 安全方針修正

# 運輸安全マネジメント

株式会社中国交通

輸送の安全を確保するために、代表及び取締役(以下「経営トップ」という。)主導による新たな仕組み(安全マネジメント)づくりを推進し、安心・安全で健全な会社運営を目指す。

「安全マネジメント」とは、輸送の安全確保が最も重要であるという意識を、経営トップから現場の乗務社員まで浸透させ、輸送の安全に関する計画の作成・実行・チェック・改善(いわゆるPDCAサイクル)を活用して、会社全体の安全確保・向上を継続的に行うもの。



◇ 次の7項目の取り組みを行う。

- ① 経営トップは、輸送の安全の確保のため、次に掲げる事項について、主体的に関与し、組織全体の安全管理体制を構築し、適切に運営する。
- ② 関係法令等の遵守と安全最優先の原則を徹底する。
- ③ 安全方針を徹底する。
- ④ 安全統括管理者、その他経営管理部門で安全管理に従事する者(以下「安全統括管理者等」という。)に指示するなどして、安全重点施策を策定する。
- ⑤ 安全統括管理者等に指示するなどして、重大な事故等への対応を実施する。
- ⑥ 安全管理体制を構築・改善し、かつ輸送の安全を確保するために、安全統括管理者等に指示するなどして、必要な要員、情報、車両及び施設が使用できるようにする。
- ⑦ マネジメントレビューを実施する。

## 5W1Hの手法による具体的な実施運営

ヘン	When (いつ)	ホリット	What (なにを)
ヘヤ	Where (どこで)	ホリ	Why (なぜ)
フ	Who (だれが)	ハウ	How (どのようにして)

## 両備グループ安全マネジメント宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は「運輸安全マネジメント」に基づき「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

両備グループ代表 小嶋 光信

### 1 活動方針

両備教育センター、両備タクシーグループ安全マネジメント推進室や各社および外部機関の活用と、SSP-u p 運動などを通じ、安全方針に則った安全重点施策を徹底し、数値目標を設定して、効果的な安全マネジメント体制を構築する。

### 2 S・S・P・u p 運動の実施

S=safety&security(安全),  
S=service(サービス),  
P=productivity(生産性),  
u p=(向上)

### 3 両備交通五悪追放運動の実施

飲酒  
携帯電話使用  
免許不携帯  
居眠り運転  
バック自損

### 4 SAFTY-OK 運動の実施

S：スピード出しません  
A：安全車間保ちます  
F：踏切止まります  
T：追突しません  
Y：よそ見しません  
O：追い越し注意します  
K：交差点内徐行します

## 輸送の安全に関する基本方針及び目標の設定

事業所名 株式会社 中国交通  
代表者名 代表取締役社長 松 田 久

### 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 安全運転を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
- (2) 車両の整備を的確に行い、日常点検を厳正に行うこと。
- (3) 点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
- (4) 教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
- (5) 万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとること。

### 輸送の安全を確保するための重点施策

- (1) 追突事故の防止
- (2) 交差点における安全確認の厳重な励行
- (3) 飲酒事故の事前防止（飲酒チェックを厳格に実施）
- (4) 自損事故の防止（タコツボを設置したバック事故防止策も実施）
- (5) インストラクター制度での事故予防教育

### 輸送の安全に関する目標の設定

#### 1. 事故件数

平成28年目標

事故発生件数 0件

#### 2. 輸送の安全に関する予算額

平成28年予算額合計 1,400,000円

① 輸送の安全の設備・機器に関する予算額 1,200,000円

② 輸送の安全に関する教育予算額 200,000円

(7) を今期から計上

### 輸送の安全に関する実施方針(目標を達成するための計画)

計画(1) 安全マネジメント委員会タクシー部会において、安全取組PDCAを  
発表しマネジメントレビューを行う。

計画(2) 交通事故、クレーム、飲酒検知、運行管理、欠勤等の違反と無事故、お礼、燃費、生産性等の称揚を点数化して個別管理する両備タクシーグループ点数制度を活用し、社員

に対する指導・処分や称揚を行い選ばれるタクシー企業を目指す。

計画(3) 安全管理規程第8条による適切なグループ組織体制により、各管理者の職務を明確にし、社員に対する指導を常に行う。

※輸送の安全確保に関する装置機器類について積極的に導入を計画する。

計画(4) ABS(アンチロックブレーキシステム)装着車両の導入  
新規購入車両は標準装備として装着。

計画(5) ドライブレコーダーを標準装備  
新規購入車両は標準装備として装着。常時記録型ドライブレコーダーの全車装着を継続

計画(6) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じる。  
※内部監査は以下を計画する。

番号	実施する監査	時期・回数	内容等
1	内部監査員監査	1回以上/年	安全マネジメント実施状況等の点検
2	安全統括管理者点検	随時	上記実施項目ほか
3	タクシーグループ監査役監査	随時	
4	総務部人事監査	随時	
5	総務部財務監査	随時	
6	両備グループ監査室監査	随時	
7	モニタリング	3台以上/月	チェックシートによるモニタリング

計画(10) 安全に関する情報の連絡・共有

① ヒヤリ・ハット情報によるハザードマップの情報共有(継続)

② 交通事故発生の場合、事故発生から24時間以内に安全推進室への速報の義務付け。  
(継続)

③ 交通事故発生の場合、事故発生から3時間以内に事故・失態等対応基準により、経営トップに報告を義務付け。

④ 労働災害発生の場合も同じく、事故発生から24時間以内に人事委員会へ速報の義務付け。(継続)

⑤ 交通事故・労働災害等発生した場合、事故発生事業所・事故の種類・当該事故惹起者・事故の概況・現場見取り図・事故の想定できる原因等記載した「事故速報」または「両備タクシーグループ事故報告書」を全乗務員に周知(継続)

⑤ 車両に出された「リコール」「対策」「サービスキャンペーン」等の情報について、対象車両保有事業所へ不良箇所を記載した情報を入手次第、対応文書を掲出し送付、走行中のトラブル及び事故の防止を図る。(継続)

計画（12）安全に関する教育及び研修

【現業部門】（すべての研修において嘱託・パートも対象）

教育・研修名	対象者	内容	適用
新人タクシー乗務社員研修	新人乗務社員 (グループ共通)	安全・サービスの実務知識 技術・技能の習得と訓練	3日
新任乗務社員共通科目合同研修	新人乗務社員 (グループ共通)	グループ共通の安全・サービスの実務知識	3日
新任乗務社員無線研修	新人乗務社員 (グループ共通)	安全運行の為の無線運用スキル	8時間
新任乗務社員フォロー【年末年始対応】研修	新人乗務社員 (グループ共通)	繁忙期に備えた安全運行と接客	4時間
危険予知トレーニング研修	岡山交通実施	画像による事故を想定した訓練とグループ討議	外部講師での1.5時間
安全確認予防訓練	入社3年以内の総合交通キャリア職	安全確認実技訓練	1.5時間（基本実技訓練）
事故発生7日以内の現場確認と訓練	事故惹起者 (グループ共通)	安全確認実技訓練	1.5時間（基本実技訓練）

自損事故研修	自損事故惹起者 (グループ共通)	安全確認実技訓練 焦りから発生する事例と防止策 ドライブレコーダーによる事故分析とKYT	4時間 1時間
年間1回目事故惹起者研修	事故惹起者 (グループ共通)	安全確認実技訓練 ドライブレコーダーによる事故分析とKYT	3時間 1時間
年間2回目事故惹起者研修	事故惹起者 (グループ共通)	安全確認実技訓練 ドライブレコーダーによる事故分析とKYT	4時間 2時間
年間3回目事故惹起者研修	事故惹起者 (グループ共通)	安全確認実技訓練 ドライブレコーダーによる事故分析とKYT 管理者同行	4時間 2時間

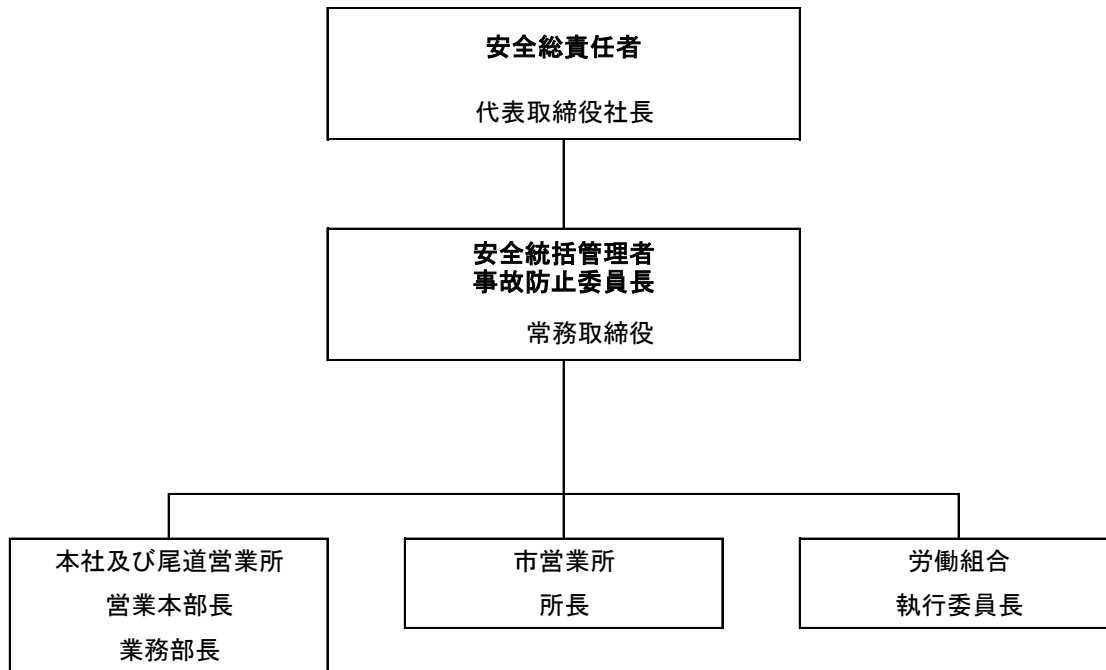
教育・研修名	対象者	内容	適用
新入社員基礎研修	事務系新入社員 総合交通キャリア職 (グループ共通)	社会人の基本マナー 基礎知識	両備グループ新入社員の合同研修 (両備教育センター主催研修)
キャリアパス研修 (両備グループ)	事務系社員 (グループ共通)	キャリアパス設定科目	両備グループ資格要件研修 (両備教育センター主催研修)
キャリアパス研修 (タクシーグループ)	事務系社員 (グループ共通)	法務・財務・運行管理の 基本知識	タクシーグループ内研修
現場要員研修	営業所長・次長 (グループ共通)	営業所長・次長の職務 と役割他	タクシーグループ内研修
チームリーダー研修	乗務社員チーム リーダー (グループ共通)	小集団のリーダーとしての 役割他	タクシーグループ内研修
内部監査員研修	内部監査員	内部監査要領と実務 の習得	タクシーグループ内研修 基本は社内講師。
その他業務上 必要な研修	事務系社員 総合交通キャリア職	例:マナー研修等	タクシーグループ内研修 基本は社内講師。 必要あれば外部講師

平成28年 安全・サービス年間計画 両備タクシーグループ

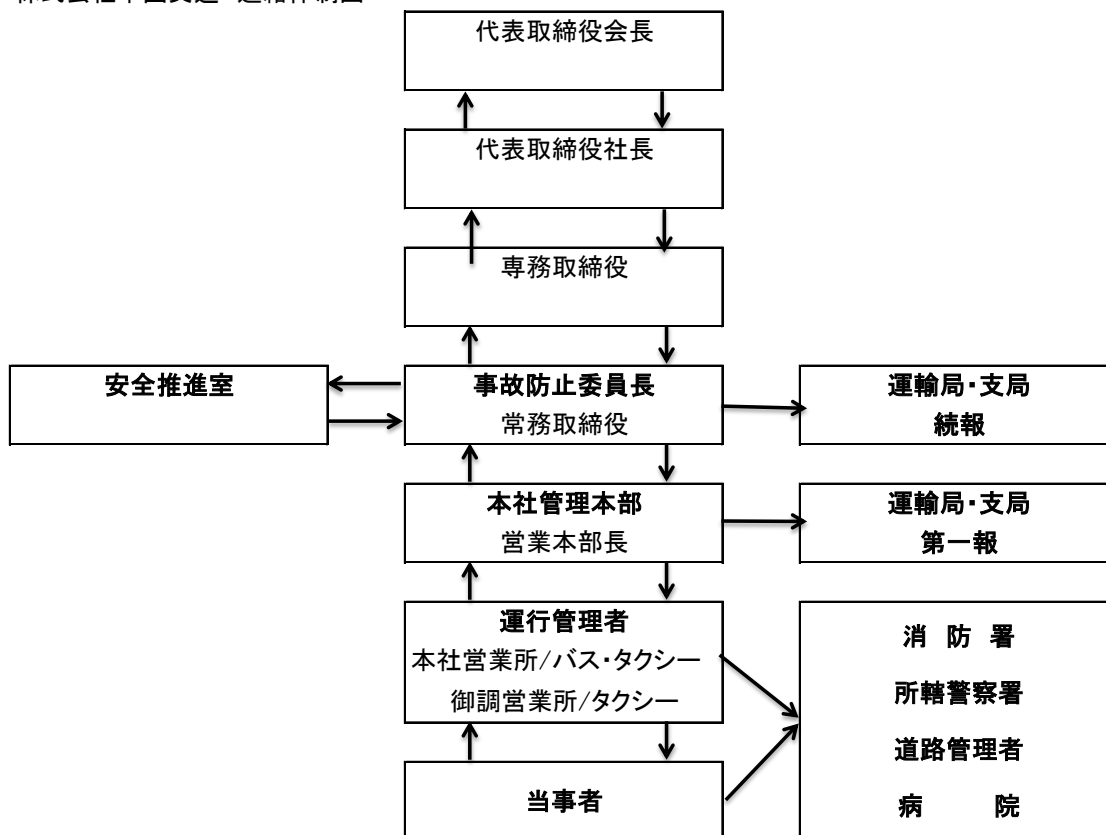
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
社内実施の研修（社内ルール、就業規則、添乗教育等）												
新人タクシー乗務社員研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
両備タクシーグループ本部・教育室・安全マネジメント推進室実施の研修及び施策												
新任乗務社員共通科目合同研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新任乗務社員無線研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新任乗務社員フォロー【年末年始対応】研修											○	
危険予知トレーニング研修	随 時											
安全確認予防訓練	随 時											
事故惹起者研修（7日以内研修、自損事故研修、年間1回目事故惹起者研修、年間2回目事故惹起者研修、年間3回目事故惹起者研修）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事故惹起者個別指導	随 時											
事故速報等安全教宣活動（資料・事故情報等のメール配付）	→											
チャレンジ365日（タクシーグループ全社の乗務社員運転経歴を取得し、表彰）	→											
	起算日8月1日～7月31日											
クレーム多発者個別指導	随 時											
タクシーグループキャリアパス研修（管理部門）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現場要員研修（管理部門）				○								
チームリーダー研修（管理部門）		○	○									
内部監査員研修	○											
その他業務上必要な研修（管理部門）	随 時											
両備グループ研修												
新任タクシー乗務社員基礎研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クレーム研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新入社員基礎研修（管理部門）	○											
キャリアパス研修（管理部門）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
両備タクシーグループ本部・安全推進室安全運動												
事故の特別期間 原則は、春・秋の全国交通安全運動に合わせタクシーグループでテーマを決めて安全運動を実施、及びグループで、独自実践	1～10			6～15			1～30 （原簿 の・過労 防止）		21～30			10～31
街頭指導の日 （安全推進室が主導し、各営業所長等が、全社街頭パトロールと不適格運転者の指導）	8日・ 18日・ 28日	8日・ 18日・ 28日	8日・ 18日・ 29日	8日・ 18日・ 30日	8日・ 18日・ 31日	8日・ 18日・ 32日	8日・ 18日・ 33日	8日・ 18日・ 34日	8日・ 18日・ 35日	8日・ 18日・ 36日	8日・ 18日・ 37日	8日・ 18日・ 38日
両備タクシーグループ「危険回避及びシートベルト完全着用の日」								10日				
両備タクシーグループ「無事故の日」（岡山交通安全の死亡事故の日を受けて）				16日								
安全総点検	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日
交差点注意日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日
両備グループ安全運動												
両備グループ 交通安全月間							○					
両備グループ 交通安全の日							31日					
両備グループ 事故ゼロの日（中国バス）										19日		
春休み特別安全運動			28～31	1～5								
GW特別安全運動				28～30	1～5							
夏休み特別安全運動								17～31				
県警等・タクシー協会安全運動												
春の全国交通安全運動				6～15								
夏の全国交通安全運動（広島県のみ）							11～20					
秋の全国交通安全運動								21～30				
年末交通事故防止県民運動（岡山県）	1～5											1～31
年末交通事故防止県民総ぐるみ運動（広島県のみ）												11～20
県民交通安全の日（岡山県）	10日・ 25日	10日・ 25日	10日・ 26日	10日・ 27日	10日・ 28日	10日・ 29日	10日・ 30日	10日・ 31日	10日・ 32日	10日・ 33日	10日・ 34日	10日・ 35日
年末年始の輸送等に関する安全総点検	1～10											10～31
両備グループ関連行事												
S S F u p コンテスト							9日 東京地区			2日 本大会		
健康管理												
定期健康診断	→ 各社随時であるが、主として⇒の期間											
深夜業健康診断	各社随時であるが、主として⇒の期間 →											



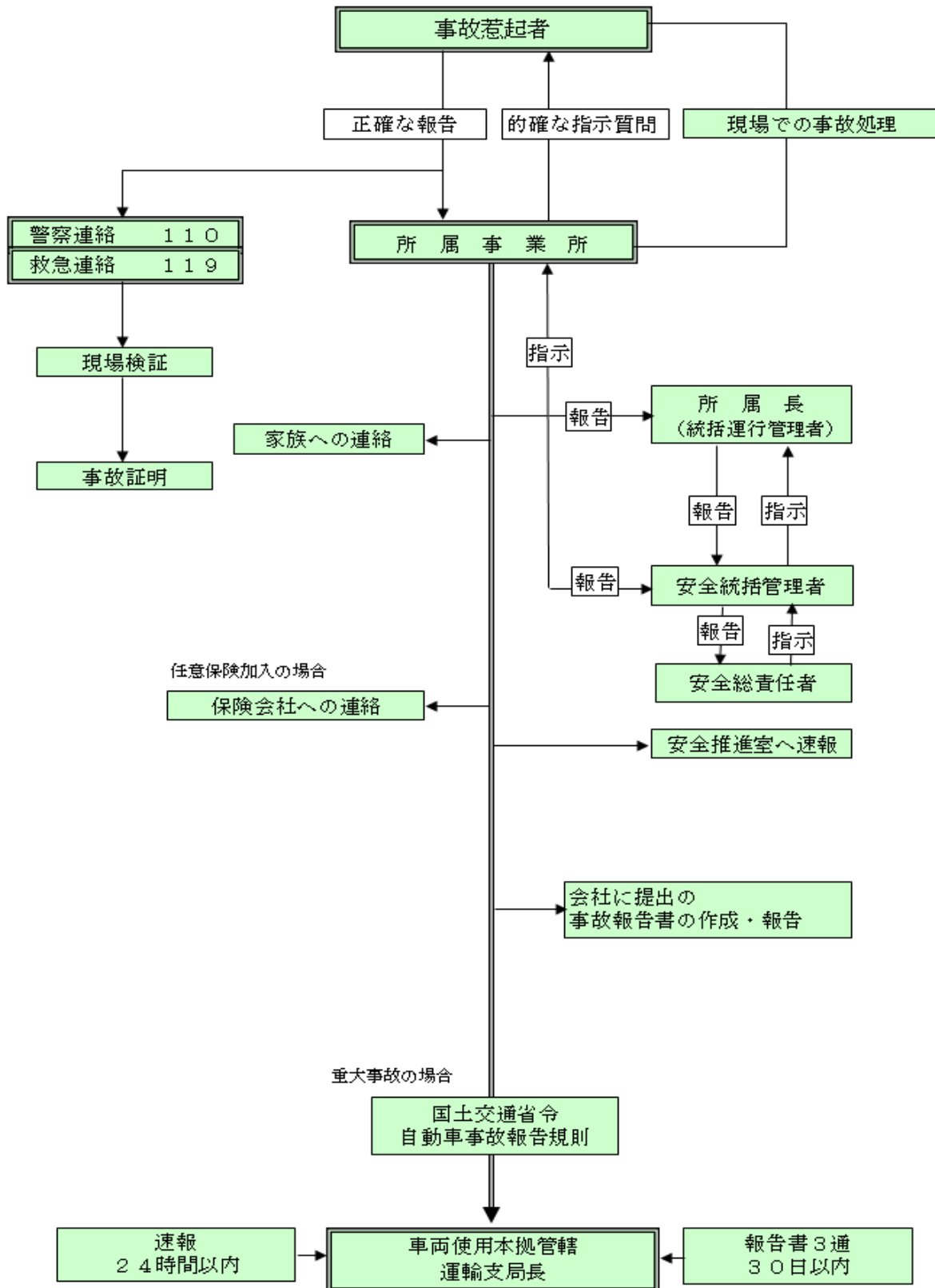
株式会社中国交通 安全管理体制



株式会社中国交通 連絡体制図



# 中国交通 事故処理と報告



平成28年 安全管理規程に基づくチェックリスト

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	摘要
目標管理	10万キロ当たり事故件数【単月】													グループ安全マネジメント推進室資料
	10万キロ当たり事故件数【累計】													グループ安全マネジメント推進室資料
	有責事故件数													グループ安全マネジメント推進室資料
	総事故件数													グループ安全マネジメント推進室資料
	事故速報													グループ安全マネジメント推進室資料
監査	内部監査員監査													2回以上/年
	安全統括管理者点検													随時
	タクシーグループ監査役業務監査													随時
	総務部人事監査													随時
	総務部財務監査													随時
	両備グループ監査室監査													随時
	※ 国土交通省マネジメント評価 モニタリング													※岡山交通のみ 60台以上/月
安全に関する教育及び施策	社内実施の研修（社内ルール、就業規則、添乗教育等）													
	新人タクシー乗務社員研修													毎月実施
	両備タクシーグループ本部・教育室・安全マネジメント推進室実施の研修及び施策													
	新任乗務社員共通科目合同研修													毎月実施
	新任乗務社員無線研修													毎月実施
	新任乗務社員フォロー【年末年始対応】研修													10月・11月実施
	危険予知トレーニング研修													随時
	安全確認予防訓練													随時
	事故惹起者研修（7日以内研修、自損事故研修、年間1回目事故惹起者研修、年間2回目事故惹起者研修、年間3回目事故惹起者研修）													毎月実施
	事故惹起者個別指導													随時
	事故速報等安全教宣活動（資料・事故情報等のメール配付）													随時
	チャレンジ365日（タクシーグループ全社の乗務社員運転経歴を取得し、表彰）													
	クレーム多発者個別指導													随時
	タクシーグループキャリアパス研修（管理部門）													毎月実施
	現場要員研修（管理部門）													随時
	チームリーダー研修（管理部門）													1月～2月任命時実施
	内部監査員研修													
	その他業務上必要な研修（管理部門）													随時
	両備グループ研修													
	新任タクシー乗務社員基礎研修													
クレーム研修														
新入社員基礎研修（管理部門）														
キャリアパス研修（管理部門）														
巡回活動	街頭指導の日（安全推進室が主導し、各営業所長等が、全社街頭パトロールと不適格運転者の指導）	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	8日 18日 28日	毎月8日・18日・28日原則実施
競技会	SSPupコンテスト													10月実施